

Google Cloud Next Tokyo

クラウドインテグレーターが語る

我々は、生成 AI アプリを 開発するべきなのか

株式会社 G-gen



杉村 勇馬



キャリア

- 2012年4月：埼玉県警察 警察官（巡査）
- 2017年4月：株式会社サーバーワークス 入社
- 2021年9月：株式会社G-genの設立に参画
- 2024年1月：Jagu'e'rコミッティ（理事）



Google Cloud や AWS の最新情報を呟いています。

@y_sugi_it

表彰・資格・著書

- Google Cloud Partner Top Engineer 2023 & 2024 & 2025 (Fellow)
- Google Developer Experts (GDE)
- 著書

『合格対策 Google Cloud 認定資格 Cloud Digital Leader テキスト & 演習問題』



坂本 凌平



キャリア

- 2019年4月：某Sier 入社 自社パッケージ開発に3年間従事
- 2022年2月：株式会社G-gen（当時トップゲート）入社
バック/フロントエンド、データ基盤開発
生成AIに関するワークショップの講師など

表彰・資格・著書

- Google Cloud 認定資格 Associate・Professional 全資格
- 基本情報技術者試験
- 応用情報技術者試験
- 情報処理安全確保支援士試験合格



Table of Contents

1. はじめに
2. Google のすぐ使える AI ソリューション
3. Google の AI アプリ開発用プラットフォーム
4. 独自 AI アプリ開発へのスタンス
5. まとめ



1

はじめに

会社概要

会社名 株式会社G-gen

本社所在地 〒162-0824

東京都新宿区揚場町1番21号 飯田橋升本ビル2階

代表 羽柴 孝

設立 2006年7月13日（合併前の G-gen は 2021年8月）

従業員数 120名

売上高 約60億円

株主 株式会社サーバーワークス、ベスピングローバルジャパン合同会社

事業内容 Google Cloud ・Google Workspace 専門インテグレーター



はじめに

本日持ち帰ってほしいこと

Google Cloud、Google Workspace の
AI ソリューションについて知っていただく

自社 AI アプリ開発の判断指針の考え方を参考にしていただく

はじめに

今日の内容

前半

Google Cloud、Google Workspace の
AI ソリューションの紹介

後半

自社 AI アプリ開発の判断指針についての考察



2

Google の すぐ使える AI ソリューション

Google のすぐ使える AI ソリューション

- Google は、多くのすぐ使える（Out-of-the-box な）AI ソリューションを提供しています
- Google Workspace に**追加料金なし**で付属しており、**開発**や**特別なスキルなし**で、すぐに利用できます

Gemini アプリ

Gemini アプリとは

- Web ブラウザやモバイルアプリで利用する対話型 AI サービス
- 自由な形式での質問応答、文章生成、アイデア出しなど



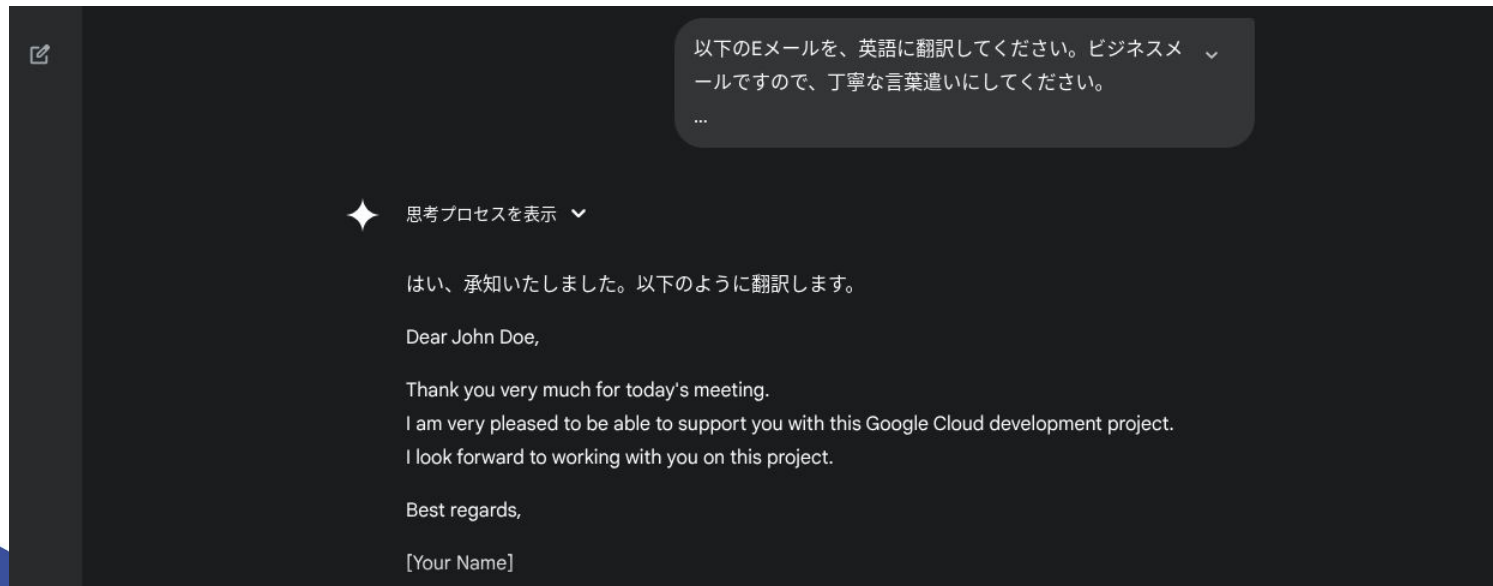
生成や解説、要約

- 文章の生成や解説、要約、知らない単語を調べる
- 技術要素を調査する（Deep Research）



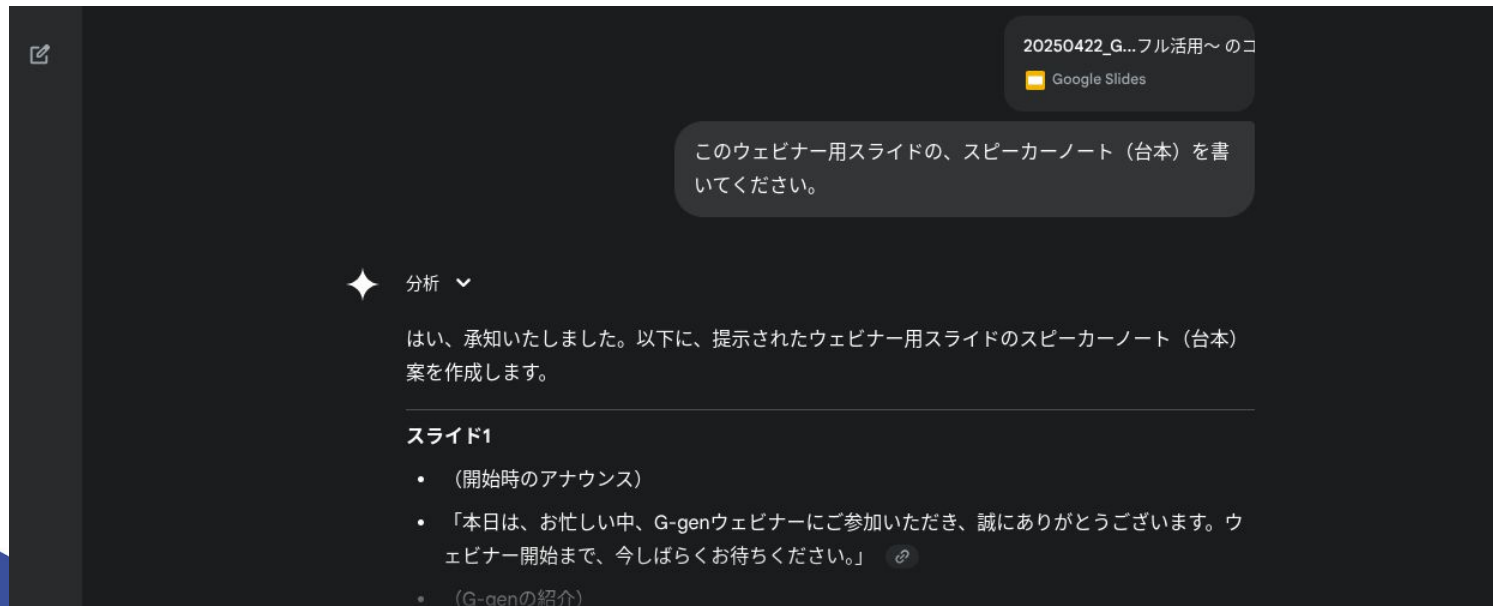
和英翻訳や英和翻訳

- 英語の技術情報の解釈をしたり、海外の相手にメールを送る時
- 失礼がなく自然な英語の生成



ドキュメントやスライドの内容をベースに生成

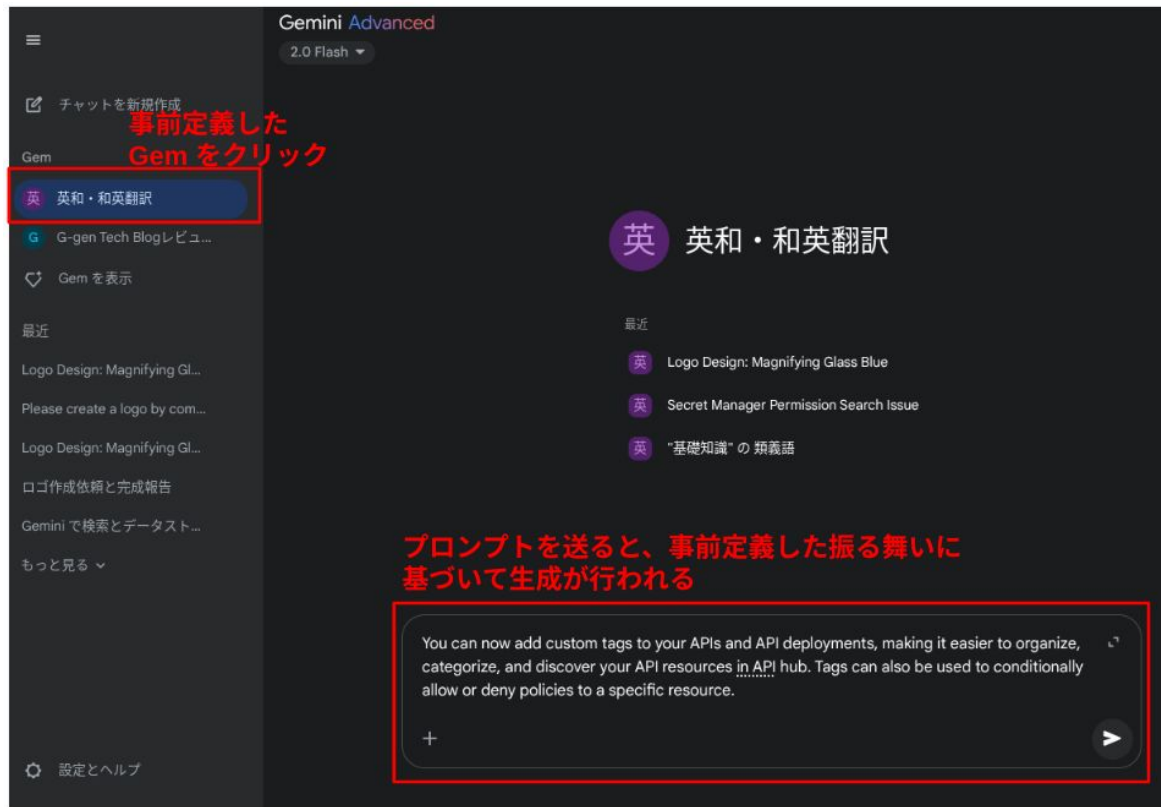
- Google スライドや Google ドキュメントなど、Google ドライブ上のファイルを指定して、それらに基づいた生成



Gems を利用した特定タスクの効率化

- Gems は、特定のペルソナやタスクに特化した指示をあらかじめ作成しておき、登録する機能
- 何度も同じプロンプトを打たなくて良くなる
- Gems の例
 - 和英・英和翻訳 Gem
 - 技術要素の解説 Gem
 - ブログ下書きレビュー Gem

Gems を利用した特定タスクの効率化



ブログ記事・ドキュメントの草案作成

- 体裁ルールや模範的な記事原稿をプロンプトに入れることで、精度が高い生成が可能
- 一種の **Few-shot prompting**
(プロンプトに少数の例を含めることで、精度を向上させるプロンプトエンジニアリングの手法の1つ)

登録するプロンプトの例

● Gemini は「ロングコンテキスト」。長いプロンプトでも OK

あなたは、日本のGoogle Cloud 専門インテグレーター G-gen で働く、トップエンジニアの杉村 勇馬さんです。Google Cloud に関するブログ記事の継続的な執筆により、業界内で非常に高い評判を受けています。あなたは、プロジェクトで得た知見や公式ドキュメントに基づいて G-gen Tech Blog 記事を執筆します。あなたは、これらの知見を公衆のナレッジとするために記事化しようとしています。技術的に正確であること、Google の公式ドキュメントを引用すること、日本語が正しい文体であること、あいまいさを排除することに注意します。参考になる既存記事として、以下があります。以下の既存記事の構成や文体、スタイルを模倣して、新しい記事を書きます。

G-gen Tech Blog のコンセプト

1. ブログではなく、ナレッジベースである

* Tech Blog と名付けられていますが、正確にはナレッジベース (知識を蓄積しておく場所) の位置づけです。

* 公式ドキュメントに準ずるようなナレッジベースを目指します。

* そのためいわゆる「ブログっぽい」くだけた表現や、不正確な内容、公序良俗に反する内容、G-gen のカルチャーに反する内容は掲載しません。

2. 顧客に示せる資料である

* G-gen Tech Blog の記事は、商談時、テクニカルサポート窓口の対応時、プロジェクトの対応時などに、顧客に示すことができる資料です。

* そのためすべての記事は、G-gen 社の正式資料として顧客に示せる品質を目指します。

体裁ルール

* 書き手の個性は出さない。特に記事冒頭は記事の自動引用時に文章が引用される大事な部分。時候の挨拶やアイズプレイク的な文章は不要

* ただし、冒頭の「G-gen の〇〇です。」という名乗りは入れる。

* 生成 AI っぽい「箇条書きの多用」『 xxxx : yyyy 』といった表現をできるだけ避ける

* 箇条書きの最後は体言止めで構わない。また箇条書きの最後は句点で終わらなくて良い

* 記事の末尾に気をつける。「いかがでしたでしょうか？」的な締めめの文章は不要 (「いかがでしたでしょうかブログ」なんていう言葉があるくらいです)。「～でしたね。では、また。」のような文章も不要。記事末尾の「まとめ」も多くの場合で不要だが、記事の理解にあたり適切な場合は記載可。

* 一次資料を引用する。記事内で初めて出てくる単語や、説明が必要な概念には、公式ドキュメント等へのリンクを貼付。

* 著作権・ライセンスに注意。どこから取ってきた画像、文章、ソースコード、テーブルなどを使わない (コンプライアンス !)

* 日本語としての読みやすさに気をつける。

* 1文を短めにする。

* 主語、述語、目的語をできるだけ明確にする。日本語では主語が省略されがちなので、気をつける。

* 簡潔な「ですます調」を使う。またシンプルな単語を使う。以下の置き換えができるかを確認。

* 「～になります」「～しております」「～でございます」「～であります」「～です。」

* 「～にて」→「～で」

* 「～より」→「～から」

* 「～することが可能になります。」→「～できます。」

* 「～ですね。」→「～です。」

* 「活用」→「使用」「利用」

* 口語的な表現はできるだけ避ける。ただし、禁止というわけではな

く、読みやすくするため、あるいはインパクトを与えるために意図的に用いることは可能。

* 初出の専門用語や、情報を強調させたいときなど、太字を効果的に使う。ただし多用を避ける。不要な太字は減らす

* ソースコードはコードブロックを使う。また、シンタックスハイライトを設定する

* Python、SQL、Bash などには、はてなマークダウンのシンタックスハイライト機能を使う

* Bash -> sh

* SQL -> sql

* Python -> python ...等

* 参考 : <https://help.hatenablog.com/entry/markup/syntaxhighlight>

* スペースの入れ方、括弧の書き方 Google の公式資料の表記ルールにあわせ、以下のとおりとする。

* 英字の前後には半角スペースを入れる

* 括弧は全角にし、括弧の前後にはスペースを入れない

* 数字の前後に半角スペースを入れるかは、任意

* リンクの貼り方

* 一次資料を参照する。

* ○ 参考情報として Google 公式ドキュメントへのリンクを張る

* × 参考情報として個人の Qiita へのリンクを張る

* サイト内回遊を促す。

* 検索でたどり着いた人が別の記事も読んでくれるよう G-gen Tech

Blog の他の参考記事を積極的に掲載する

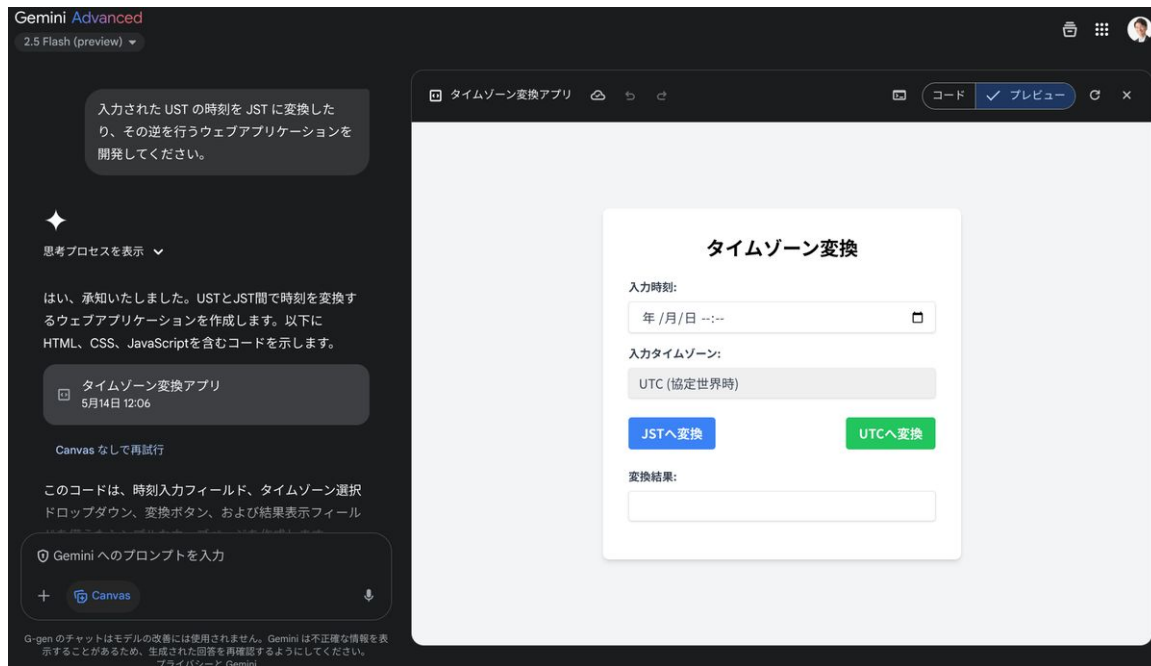
* 文中にリンクを貼らず、できるだけ文章外にリンクを出す。どこに飛ぶのかをわかりやすくするため。

* リンクの文法

* G-gen Tech Blog の他記事へのリンクの場合、「

ソースコード生成

- Python、Bash、SQL、Terraform などのソースコードを生成



NotebookLM

NotebookLM とは

- アップロードしたドキュメントに基づいて質問応答や要約、アイデア生成などができる AI ノートブック
- 個人のナレッジ整理や情報収集のために使う

NotebookLM とは

The screenshot displays the Gemini NotebookLM application interface, which is divided into three main panels: Sources, Chat, and Studio.

- Sources Panel:** Located on the left, it features a search bar with a magnifying glass icon and a button labeled "追加" (Add). Below the search bar, it shows a list of sources. The first source is "Google Cloud Next '25 速報レ..." (Google Cloud Next '25 News Report...), which is selected and has a checkmark next to it.
- Chat Panel:** The central panel, titled "Google Cloud Next '25 基調講演速報" (Google Cloud Next '25 Keynote Speech Summary). It shows a single source selected. The main content area displays a summary of the keynote speech, mentioning Google Cloud's multi-agent platform, Cloud WAN, 7th generation TPU Ironwood, and Gemini 2.5 Flash. It also mentions the multi-modal AI model's evolution, Vertex AI's capabilities, and the multi-agent development kit (ADK) or Agent2Agent Protocol (A2A). At the bottom of the chat panel, there is a text input field with the placeholder "入力を開始します..." (Start entering...) and a button labeled "1個のソース" (1 source).
- Studio Panel:** Located on the right, it is titled "Studio". It features a section for "音声概要" (Audio Summary) with a button labeled "音声概要をより多くの言語で作成しましょう。詳細" (Create audio summaries in more languages. Details). Below this, there is a button labeled "クリックして会話を読み込みます。" (Click to load conversation.) and a button labeled "読み込み" (Load). At the bottom of the studio panel, there is a section for "メモ" (Notes) with a button labeled "+ メモを追加" (Add note). Below this, there are buttons for "学習ガイド" (Learning Guide), "ブリーフィング・ドキュメント" (Briefing Document), "よくある質問" (FAQ), and "タイムライン" (Timeline). At the very bottom of the studio panel, there is a button labeled "保存したメモがここに表示されます" (Saved notes will be displayed here) and a button labeled "チャットメッセージを保存して新しいメモを作成する" (Save chat messages to create new notes).

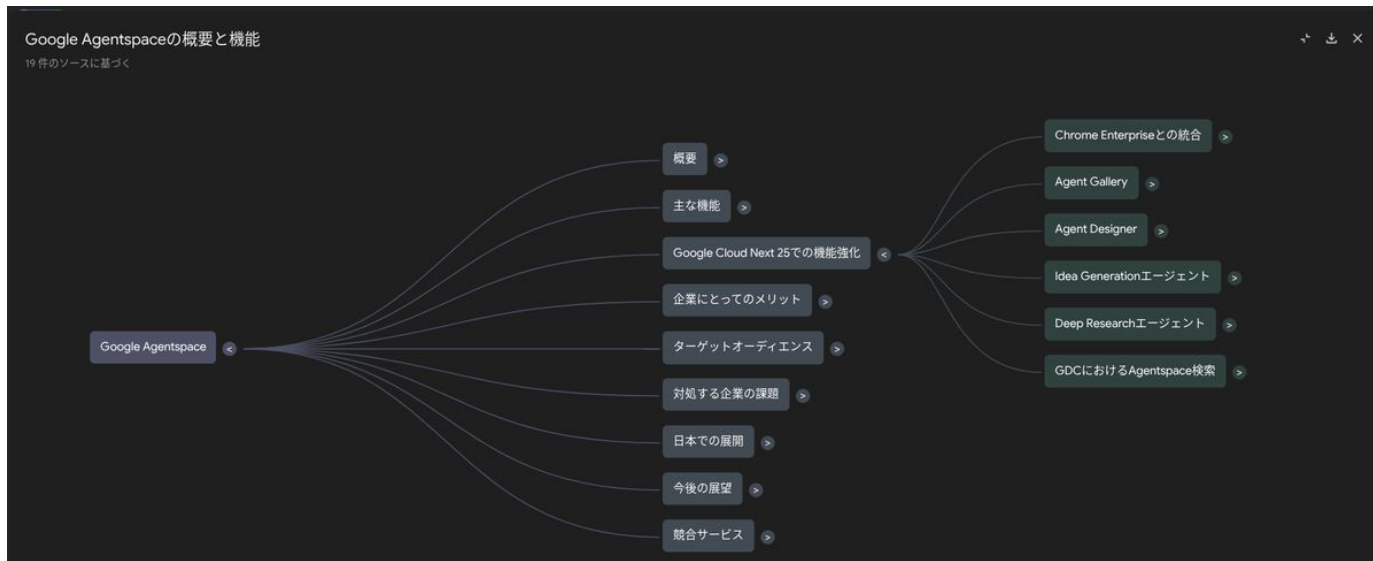
At the bottom of the application, a disclaimer states: "NotebookLM は正確な場合があります。回答は再確認してください。" (NotebookLM may not be accurate. Please double-check the answers.)

個人ドキュメントの整理・要約

- ドキュメントや Web サイト、参照した PDF 資料などを NotebookLM にアップロード
- 特定のテーマに関する情報を横断的に検索したり、全体像を要約させる
- 散在していた知識を効率的に整理
- 情報ソースを固定化して生成ができるため、
ハルシネーション (AI が事実と異なる内容を生成すること) も低減

マインドマップ

- ドキュメントをマインドマップ形式で整理
- 議事や技術ドキュメントを**構造化**して理解



ポッドキャスト風音声の生成

- アップロードしたデータソースについて、2 人の話者がラジオやポッドキャストで対談しているような音声を、数分で生成
- 「高校生でもわかりやすいように解説」などの指示を与えることで、語彙や論調をコントロール
- 例えば**英語の論文をアップロードして解説**させるなど

FAQ 作成

- 特定の製品マニュアルや社内規定などをアップロードし、それに関する想定問答集（FAQ）を生成させる

Google Workspace with Gemini

Google Meet と Gemini

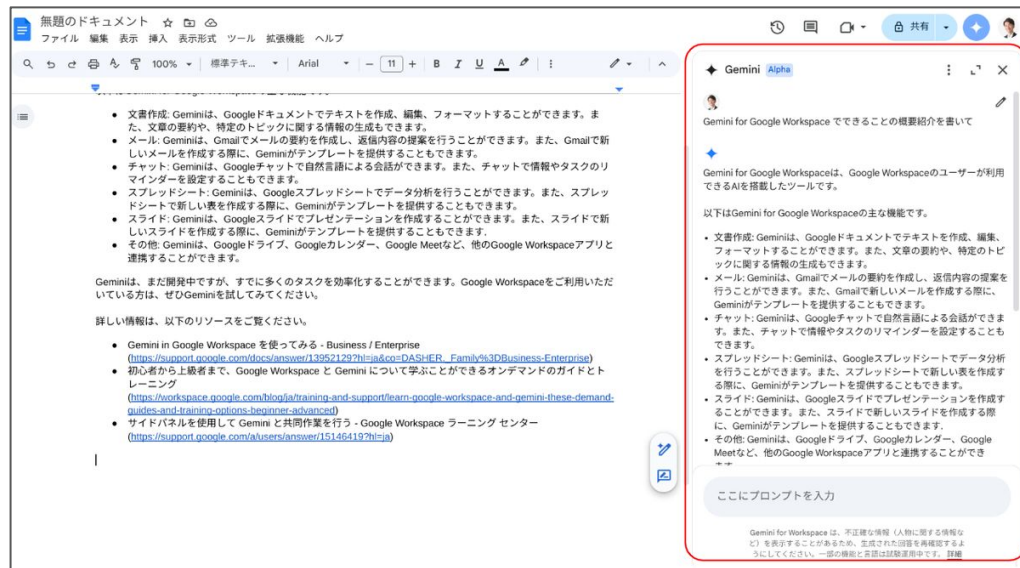
- Google Meet = Web 会議ツール
- Gemini in Google Meet
 - **自動文字起こし、自動議事録作成**
 - ハウリング防止
 - バーチャル背景の生成
 - カメラ映像の画質向上

Google ドキュメントと Gemini

- Google ドキュメント = Word ツール
- Gemini in Google Docs
 - 文章生成
 - 要約
 - 修正（推敲）

文章の生成・修正

- 文章のアイデア出し、構成案出し
- 文章のゼロからの生成、既存の文章の推敲



文章の推敲

Gemini を使うと、文章をいい感じに直してくれます。

プロンプトで修正する

- ✎ 言換え
- ⏏ 短縮
- 📝 詳述
- 📁 フォーマルにする

Gemini を使うと、文章をいい感じに直してくれます。

✎ 詳述

Geminiを活用することで、記述された文章をより洗練された表現へと改善することが可能です。句読点の修正、文法の調整はもちろんのこと、言葉遣いの見直しや、より適切な語彙の選択を通じて、文章全体の質を向上させることができます。また、文章の流れをスムーズにし、読者にとって理解しやすい構成にすることも可能です。Geminiの高度な自然言語処理能力は、単なる誤字脱字の修正に留まらず、文章が伝えたい意図をより効果的に伝えるためのサポートを提供します。

これは独創性のある文章の作成をサポートする機能であり、文章が事実に沿うようにサポートするものではありません。詳細

プロンプトで絞り込む

改良 挿入

Google ドライブ上でファイルを要約

The screenshot illustrates the process of summarizing a file in Google Drive using Gemini. On the left, the Google Drive interface shows a folder named 'Google Cloud規約系'. A file named 'google_privacy_policy_en.pdf' is selected, and a context menu is open with the option 'このファイルを要約' (Summarize this file) highlighted in a red box. A red arrow points from this menu item to the Gemini Alpha chat window on the right.

The Gemini Alpha chat window shows the following content:

このファイルについて説明して google_privacy_policy_en.pdf

了解いたしました。 google_privacy_policy_en.pdf ファイルについてご説明します。

このファイルは、Googleのプライバシーポリシーを英語で記述したものです。2024年9月16日に有効となり、Googleが収集する情報、その理由、情報の更新、管理、エクスポート、削除方法について説明しています。

主な内容:

- Googleが収集する情報: ユーザーがGoogleのサービスを利用する際に収集される情報の種類について説明しています。これには、氏名やパスワードなどの個人情報、使用するアプリやブラウザ、デバイスに関する情報、検索履歴や視聴した動画などのアクティビティ、位置情報などが含まれます。
- Googleがデータを収集する理由: 収集した情報をサービスの提供、改善、新しいサービスの開発、パーソナライズされたサービスの提供、パフォーマンスの測定、ユーザーとのコミュニケーション、Googleとそのユーザー、そして公衆を保護するために使用する目的について説明しています。
- ユーザーのプライバシー管理: Googleが収集する情報と、その使用方法に関してユーザーが選択できる項目について説明しています。プライバシーチェックアップ、アクティビティ管理、広告設定など、プライバシーを管理するためのさまざまなツールや設定について案内しています。
- 情報の共有: Googleが個人情報を外部の企業、組織、または個人と共有する

ここにプロンプトを入力

google_privacy...

Gemini for Workspace は、不正確な情報（人物に関する情報など）を表示することがあるため、生成された回答を再確認するようにしてください。一部の機能と言語は試験運用中です。詳細

他にも...

- Gmail
 - 文章**作成、要約、推敲**
 - 受信したメールから**カレンダー予定を作成**
- Google スプレッドシート
 - 複雑なスプレッドシート関数を**自然言語指示で生成**
 - スプレッドシート上のデータを**簡易分析**

Google Agentspace

Google Agentspaceとは

エンタープライズ検索

+

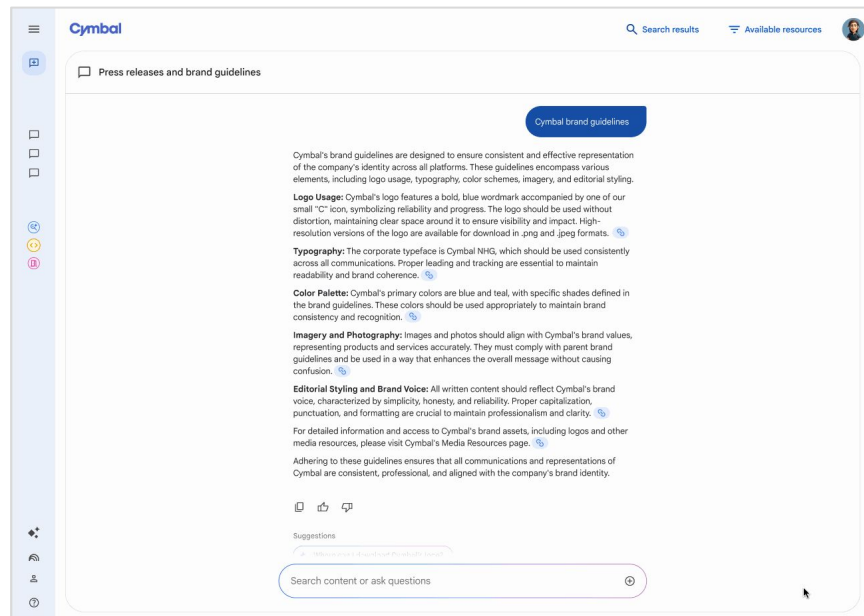
AI エージェントツール。

データの所在に関わらず

- Google 品質の検索
- Gemini の高度な推論
- 自社保有データが

統合されたエージェント

によって、従業員にエンタープライズの専門知識を提供



ユーザーインターフェース

The screenshot displays the Google AgentspacAe user interface. The main content area shows a document titled "当社のペーパーレス化の取り組みについてまとめて" (Summary of our paperless efforts). The document text includes:

当社のペーパーレス化の取り組みについて、以下の施策を推進しています。

- 社内会議資料の電子化
- クラウドストレージを活用した情報共有
- 電子契約システムの導入検討
- お客様への提案資料や請求書の電子化推奨

これらの取り組みは、事業活動における環境負荷の低減と、持続可能な社会の実現への貢献を目的としています。

他に何か詳細を! 【CSR・広報向け】環境負荷低減への取り組みとサステナビリティ

検索結果: <https://drive.google.com/a/dev.g-gen.co.jp/open?id=1F1G-JXTaBH6DkSun0gF2979N0UJVky28Xx1JwE198a>

候補

追加で質問する

ソース

生成 AI が表示する情報は、人物に関するものを含め、不正確な場合があります。回答を再確認するようにしてください。

The sidebar on the right shows search results for "検索結果". It lists several items:

- 【CSR・広報向け】環境... (https://drive.google.com/a/dev.g-gen.co.jp/open?id=1F1G-JXTaBH6DkSun0gF2979N0UJVky28Xx1JwE198a) ... 当社が事業活動を通じて環境負荷低減にどのように貢献しているか、また、持続可能な社会の実現に向け... 作成日: 2025年5月21日。 更新日: 2025年5月21日。
- 毎週土曜日で進捗を確認する (https://agentspacetest.atlassian.net/browse/...) Issue
- STEP 2: 6~3か月前 (11月~1... (https://agentspacetest.atlassian.net/browse/...) Issue
- (サンプル) 月次請求書の生成 (https://agentspacetest.atlassian.net/browse/...) Issue
- STEP 4: 直前1か月 (4月) (https://agentspacetest.atlassian.net/browse/...) Issue
- CI/CD の整備 (https://agentspacetest.atlassian.net/browse/...) Issue

Agentspace コネクター一覧

多様なコネクタ（一部抜粋）

下記リストは2025年8月下旬現在の情報です。最新情報は、以下の公式ガイドをご参照ください。

[Create a first-party data store](#) [Connect a third-party data source](#)

Gmail	Microsoft Entra ID	Box	GitHub
Google カレンダー	Microsoft OneDrive	Confluence	GitLab
Google グループ	Microsoft Outlook	DocuSign	Slack
Google サイト	Microsoft SharePoint	Dropbox	Terraform
Google ドライブ	Microsoft Teams	Jira	
NotebookLM Enterprise	OneDrive	Marketo Cloud	
AlloyDB for PostgreSQL		Notion	
BigQuery		Okta	
Bigtable		Salesforce	
Cloud SQL		SAP HANA	
Cloud Storage		ServiceNow	
Spanner		WordPress	
Firestore		Zendesk	

3

Google の AI アプリ開発用 プラットフォーム

Generative AI on Vertex AI

- GeminiをはじめAPI経由で様々なモデルを呼び出し
- モデルのチューニングも可能
- Google 検索や独自データによる RAG
- 入力したデータは学習に利用されない

基盤モデル

[→ すべて表示 \(134\)](#)

特定のタスクに合わせてさらにチューニングまたはカスタマイズできる事前トレーニング済みマルチタスク モデル。



Gemini 2.5 Flash-Lite

Most balanced Gemini model for low latency use cases.



Gemini 2.5 Pro

Strongest model quality, especially for code & complex prompts.



Gemini 2.5 Flash

Best for balancing reasoning and speed

すべてのパートナー

[→ すべて表示 \(8\)](#)

ANTHROPIC

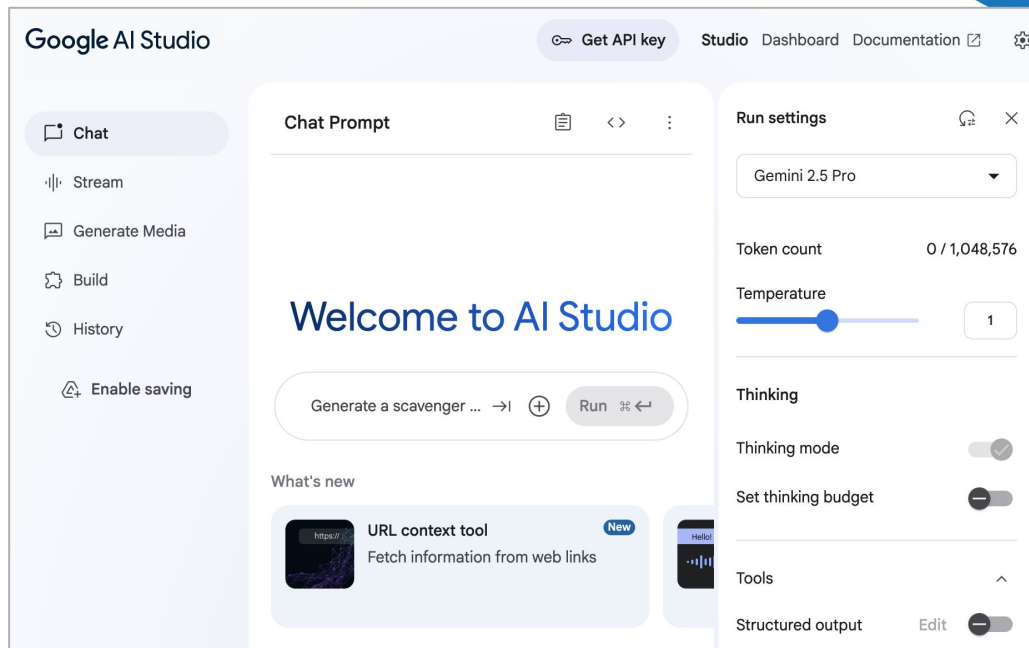
Meta



Hugging Face

Google AI Studio

- AI 開発プラットフォーム
- プログラミング知識不要
- Google アカウントだけで無料で利用



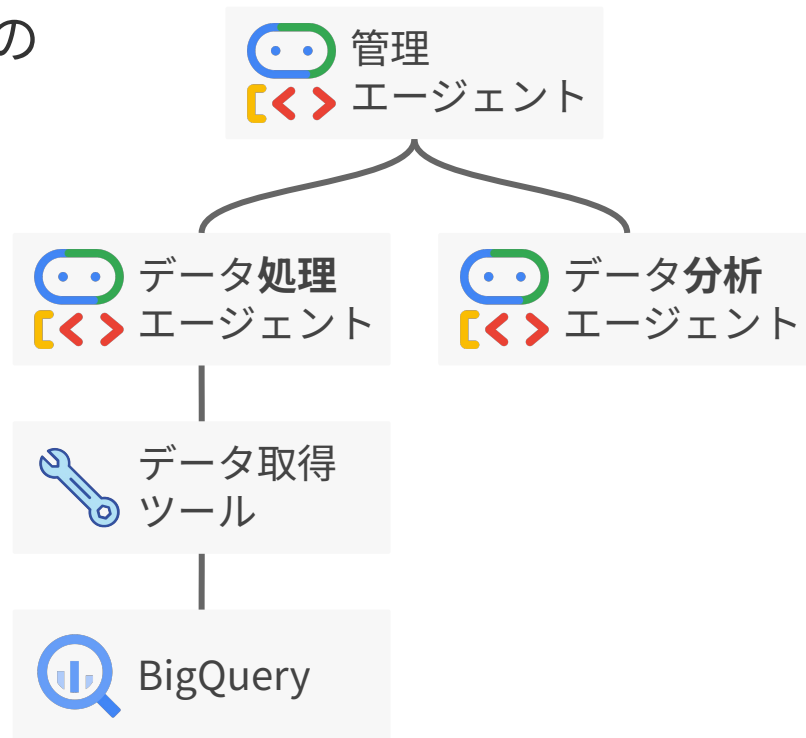
Vertex AI Search

- 社内データに対して Google 品質の検索システムを簡単に構築
(BigQuery、Cloud Storage、ウェブサイト)
- LLM がユーザーの意図を理解し検索結果を返す & 要約
- LLM のグラウンディングにも利用可能



Agent Development Kit(ADK)

- AI エージェントを開発するための Python フレームワーク
- マルチエージェントシステムを簡単に実装できる
- Geminiをはじめ、多様な LLM をサポート



Vertex AI Agent Engine

- AI エージェント用のフルマネージドプラットフォーム
- 様々なフレームワークで開発されたエージェントをホストできる
- セキュリティ、評価、監視、その他管理機能

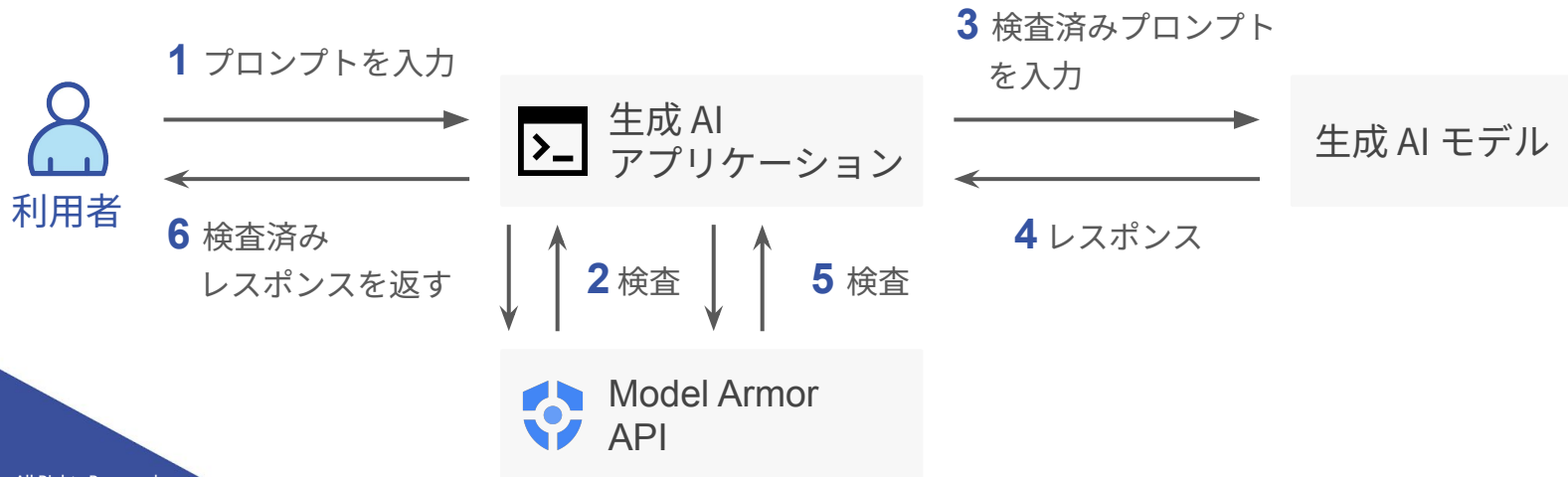


利用者



Model Armor

- 生成 AI の不適切な利用を防ぐ
- 悪意あるプロンプトを弾く
- 有害な生成結果を弾く



BigQuery ML

- BigQuery 上で機械学習モデルを学習・推論・評価
- SQL でモデルを開発できる
- BigQuery に格納されたデータをそのまま利用できる

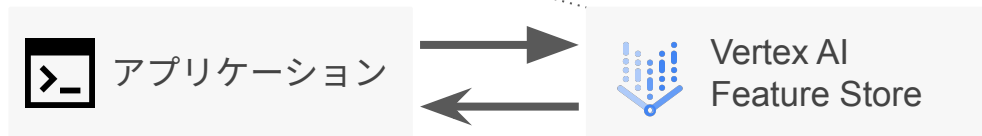
```
無題のクエリ [実行] [保存] [ダウンロード]
```

```
1 CREATE OR REPLACE MODEL `ecommerce.classification_model`  
2 OPTIONS  
3 (  
4   model_type='logistic_reg',  
5   input_label_cols = ['will_buy_on_return_visit']  
6 )  
7 AS  
8  
9 #standardSQL  
10 SELECT  
11   * EXCEPT(fullVisitorId)  
12 FROM  
13  
14 # 特徴  
15 (SELECT  
16   fullVisitorId,  
17   IFNULL(totals.bounces, 0) AS bounces,  
18   IFNULL(totals.timeOnSite, 0) AS time_on_site  
19 FROM
```

Vertex AI Feature Store

- 機械学習の特徴量を保管するデータストア
- BigQuery テーブルを活用できる
- ベクトル検索に利用できる

レコード	ID	特徴1	特徴2	タイムスタンプ
1	ID1	1.0	1.0	2025-08-05 12:00:00
2	ID2	12.0	24.0	2025-08-05 12:00:00
3	ID3	11.0	13.3	2025-08-05 12:00:00
4	ID4	6.0	12.5	2025-08-05 12:00:00
5	ID1	2.0	4.3	2025-08-06 12:00:00
6	ID2	7.0	4.2	2025-08-06 12:00:00



特徴量をリクエスト



4

独自 AI アプリ開発 へのスタンス

我々は生成 AI アプリを開発すべきなのか

この問いへの答えは **ケースバイケース** である

1. Google の Out-of-the-box な AI ツールを使う方がいいケース
2. 独自アプリを開発したほうがいいケース

Out-of-the-box なツールを使う方がいいケース

自社の業務改善のためのユースケースであれば、可能な限り、

Out-of-the-box なツール（できあいの既製品）を使うべき。

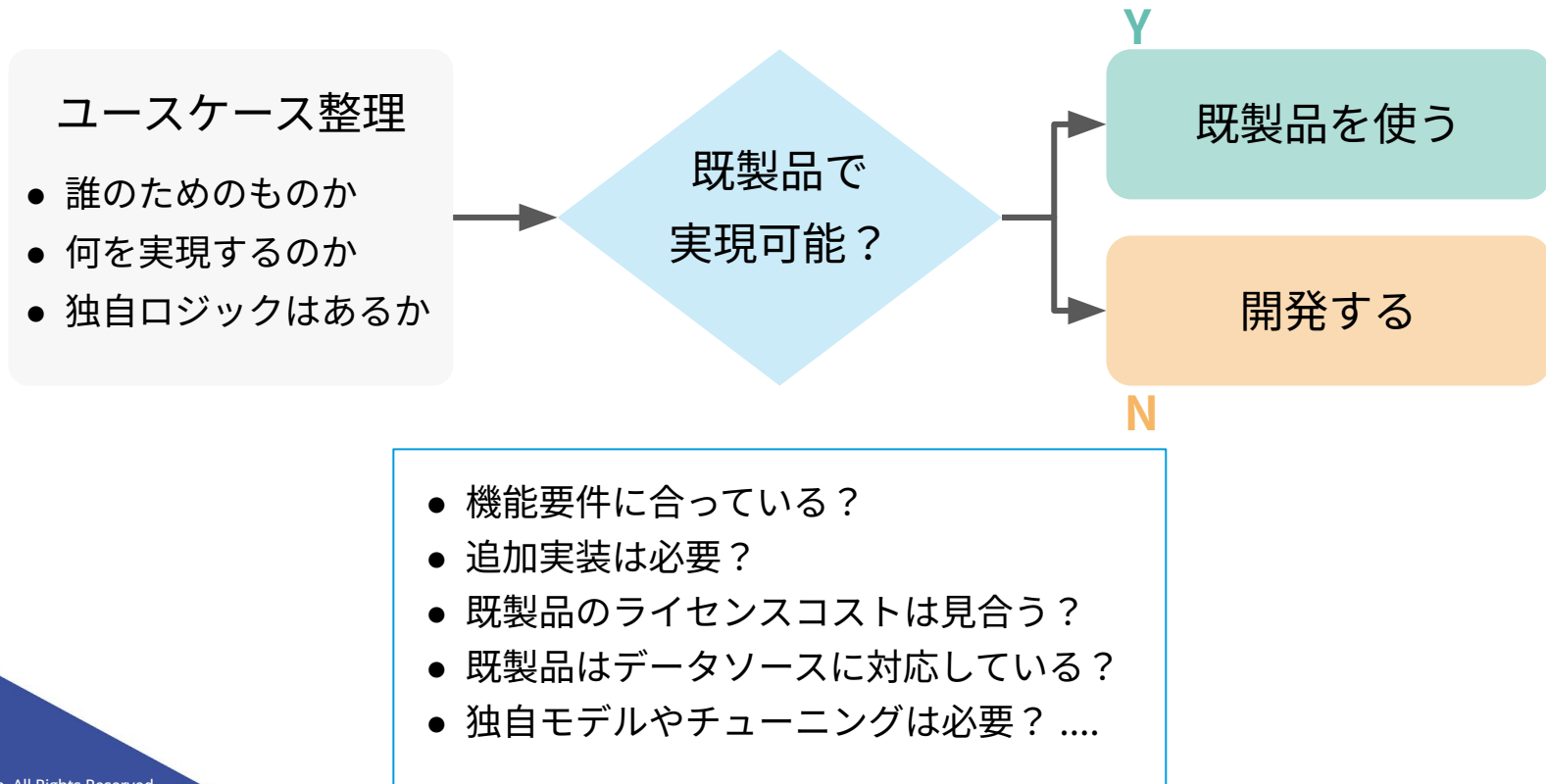
- Google などが良い製品を次から次へと開発している
 - 作り込みで自社製品を開発しても、3ヶ月後には Google がそれを**上回る新製品をリリースするかも**もしれない
- 生成 AI の性質上、フレキシブルな挙動が可能
 - 特有些事情については、**RAG** や**ロングコンテキスト**によってある程度対応できる

独自アプリを開発したほうがいいケース

以下のようなケースで、独自アプリ開発を検討する。

1. 自社特有の**独創的なビジネスロジック**が必要
2. コンシューマーや顧客向けに提供するため、独自機能との組み合わせ、ライセンス管理、課金などの**追加実装**が必要
3. 既製品の**ライセンスコストが見合わない**簡易な実装
4. 既製品では**データソースが対応していない**
5. 生成 AI ではない**回帰モデルなどを組み合わせ**たい
6. RAG やロングコンテキストでは不足で**ファインチューニング**したい

検討プロセス



独自アプリの開発を決断した例

1. Gemini アプリでは精度が足りないケース

- Gemini アプリだと、技術的な専門知識について質問したときにハルシネーションが多い
- 過去の自社ドキュメント等をもとに AI に判断・生成させたい

2. AI に複雑で多段なタスクをさせたいケース

- Gemini アプリだけでは多段タスクには限界がある。
マルチエージェントを開発して実施させる

独自アプリの開発を決断した例

3. セキュリティ要件が厳しいケース

- オンプレミスで AI を稼働させる必要があり、Gemma などのオープンモデルをオンプレミスサーバーで稼働させたい

4. コンシューマー向けのサービス

- 自社特有のサービス
- 自社サイトやアプリに組み込んだり、キャラクター性を持たせたり、AI に独自の振る舞いをさせる

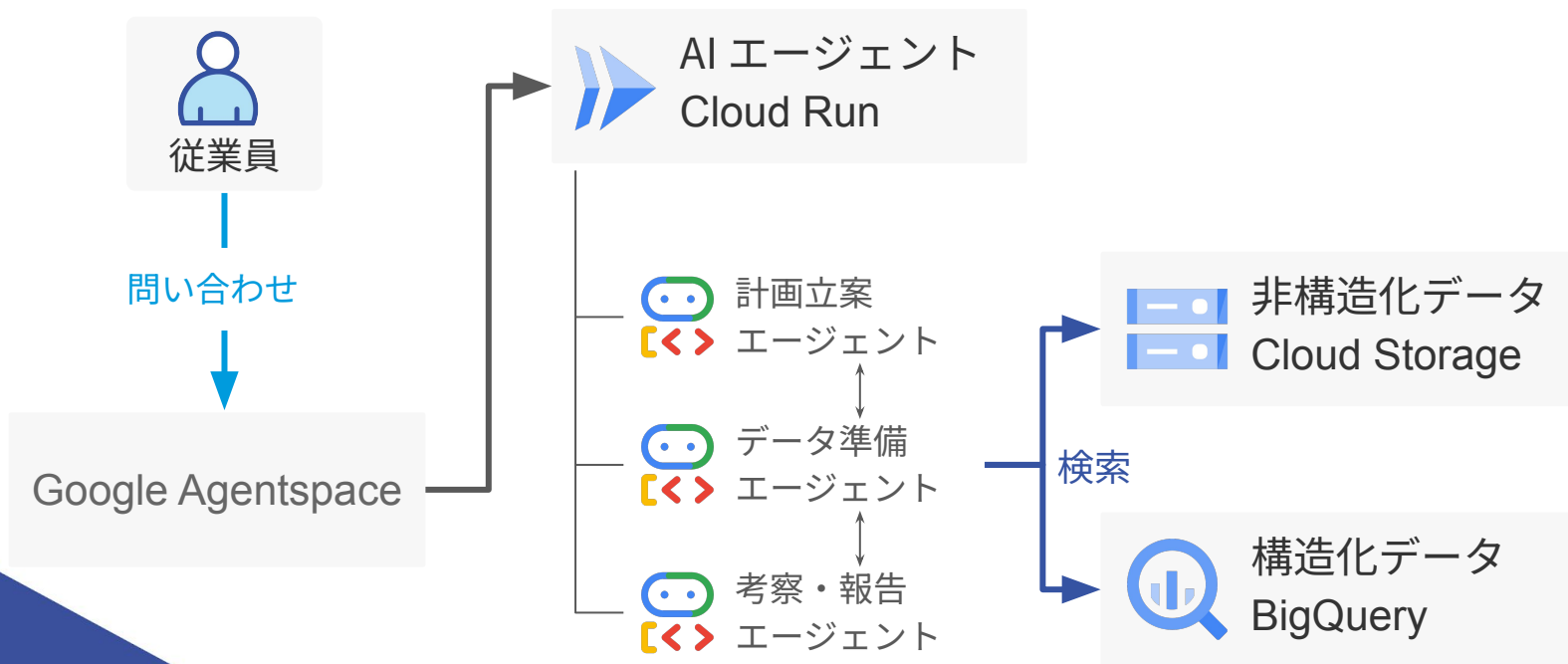
事例：某建設業様、運輸業様

過去の社内情報を検索し事例を提示。
成果物に対するレビューも提示。



事例：某公共インフラ業様

既製品と独自開発を組み合わせた事例。



事例：株式会社 G-gen

過去のサポートケースや自社記事から情報を検索し、
要約して提示するマルチエージェント。

G-gen Tech Agent

Powered by Agent Development Kit (ADK), Gemini and Vertex AI Search



お疲れ様です！本職は G-gen Tech Agent です。Google Cloud や Google Workspace についての質問を、何でも聞いてほしいのであります。例えば、以下のような質問に答えるであります！

質問内容

Vertex AI Search の料金体系について教えてください。

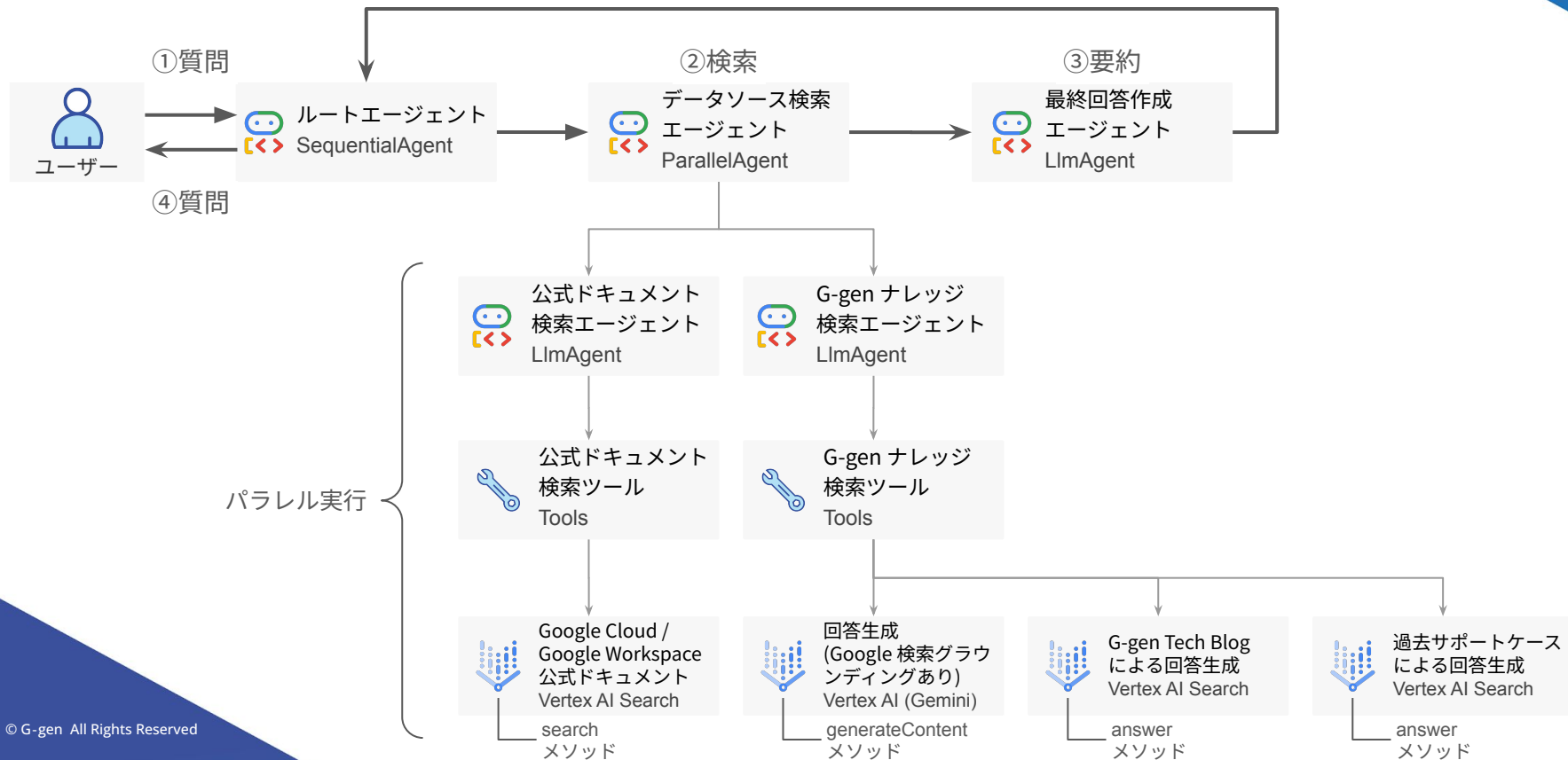
前提

以下の機能を有効化しています。

- * Enterprise エディションの機能
- * 高度な LLM 機能の設定

質問は Markdown 形式で書くことができます！

事例：株式会社 G-gen





5

まとめ

さいごに

本日本お伝えしたこと

Google はたくさんの **Out-of-the-box** な **AI ツール**を用意している

まずは既製品で対応できるか検討、その次にアプリ開発を検討

まとめ

我々は生成 AI アプリを開発すべきなのか？

ケースバイケース。

まとめ

G-gen の情報発信

G-gen ブログ

G-gen ブログ

The screenshot shows the G-gen Tech Blog interface. The header includes the G-gen logo and 'Tech Blog'. Navigation links include 'G-gen公式サイト', 'サービスカット学習コンテンツ集', '認定資格対策', '社員募集', and 'RSS'. The article path is 'トップ > Gemini > 廃止されるGeminiモデルが組織で使われているか調べる方法'. The article is dated '2025-05-14' and is by '杉村 勇馬 (id:ggen-sugimura) 2日前'. The title is '廃止されるGeminiモデルが組織で使われているか調べる方法'. Below the title are tags for 'Gemini', 'Vertex AI', 'Generative AI (生成AI)', 'トラブルシューティング', and 'Google Cloud'. There are buttons for '記事タイトルとURLをコピーする', 'B1ブックマーク', 'シェアする', and 'Pocket'. The article text begins with 'G-genの杉村です。当記事では、Google Cloud の Gemini モデルなどの旧バージョンの廃止に関する注意点、そして組織内で該当モデルが使用されているかを確認する方法について解説します。'. A sidebar on the right shows a search bar, a 'セリナー' section with a link to a security article, and a '当ブログについて' section.



@Ggen_cloud

The screenshot shows the X profile page for 株式会社G-gen (@Ggen_cloud). The header shows the company name and '161 件のツイート'. The profile picture is the G-gen logo with the tagline 'クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく'. Below the profile picture are buttons for '...', '通知', and 'フォロー中'. The bio states 'Google Cloud 専門のシステムインテグレーター、G-gen (ジージェン)。技術に関する情報発信などを行っています。技術ブログはこちら↓' and includes the link 'blog.g-gen.co.jp'. The website link is '科学・テクノロジー g-gen.co.jp' and the bio note says '2021年12月からTwitterを利用しています'.

Google Cloud & Google Workspace 請求代行サービス

その他の
料金なし

Google Cloud
Google Workspace

月額ご利用料金が
通常より **5% OFF!**

G-gen による
技術サポート窓口

ご利用料金 **0円**

Google Cloud & Google Workspace
の仕様やトラブルに関する質問が可能

その他、Google Cloud 上の開発、構築、運用支援や Google Workspace の導入支援も承ります。

サービス内容



技術サポート窓口の
提供



知見に基づいたセキュリ
ティ設定ソースコードの
提供



Google Workspace
初期設定マニュアル提供



最新アップデート共有会
(プライベート勉強会)



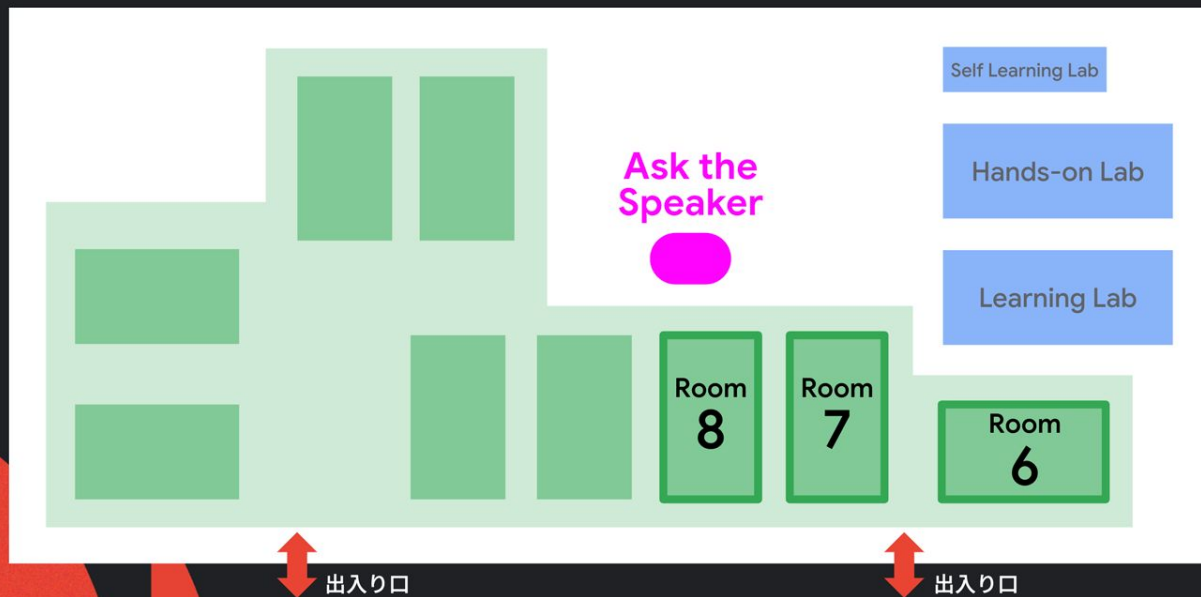
円建て請求書払い



料金変動など
重要事項の通知

Ask the Speaker にぜひお越しください（会場は 4F）

セッションに関する質問にスピーカーが直接お答えします！



Thank you



お問い合わせはこちらから

03-6387-9250

平日 10:00～19:00